

企画展

歴史画パラダイス

- ▶会 期 令和7年1月21日（火）～令和7年3月30日（日）
- ▶開館時間 9：30～17：00（入館は16：30まで）
- ▶休 館 日 月曜日（祝休日の場合は翌平日休館）
予定を変更する場合がございます。
ご来館前に当館ホームページなどで最新情報をご確認ください。
- ▶入場料金 一般510（400）円、高大生400（320）円、小中生200（160）円
※（ ）は20名以上の団体料金
※65歳以上の方（要公的証明書）および障害者手帳をご提示の方（介護者1名含む）は無料
- ▶主 催 京都府、京都府立堂本印象美術館（指定管理者：公益財団法人京都文化財団）、京都新聞
- ▶助 成 一般財団法人地域創造

報道機関 京都府立堂本印象美術館

お問合せ先 TEL：075-463-0007 FAX：075-465-3099 MAIL：museum@d-insho.jp

展覧会概要

堂本印象（1891-1975）は、生涯にわたり数多くの歴史画を描いており、高い評価を得ています。本展では、館蔵品の中から、大正時代の《維摩》をはじめ、戦後の第一作となる《太子降誕》、絶筆の《善導大師》など、歴史人物を題材にした初期から晩年の代表作の他、今回は特別に、京都の神社に奉納した神様の絵も展示します。さらに、熱心な浄土宗信者であった印象は、法然上人にまつわる作品を多数描いています。なかでも、昭和6年（1931）の帝展に出品した《大原談義》（知恩院蔵）は緻密な時代考証に基づく作品で、一方、晩年には法然上人の教えを抽象的に表現した《法然上人一枚起請文》を発表しています。

深い研究と考証による作品から、独創的な抽象表現まで、印象の溢れる才能を感じてください。

みどころ

歴史好きの人必見

聖徳太子、菅原道真、明恵上人、楠木正成親子、本阿弥光悦、明治天皇……など、教科書でもおなじみの人物が並びます。

代表作《木華開耶媛》も展示します。



堂本印象《御神号(菅原道真公)》1952年 北野天満宮蔵



堂本印象《楠公父子》1944年 京都府立堂本印象美術館蔵



堂本印象《木華開耶媛》1929年 京都府立堂本印象美術館蔵

イケメンな「ゑびすさん」も特別展示

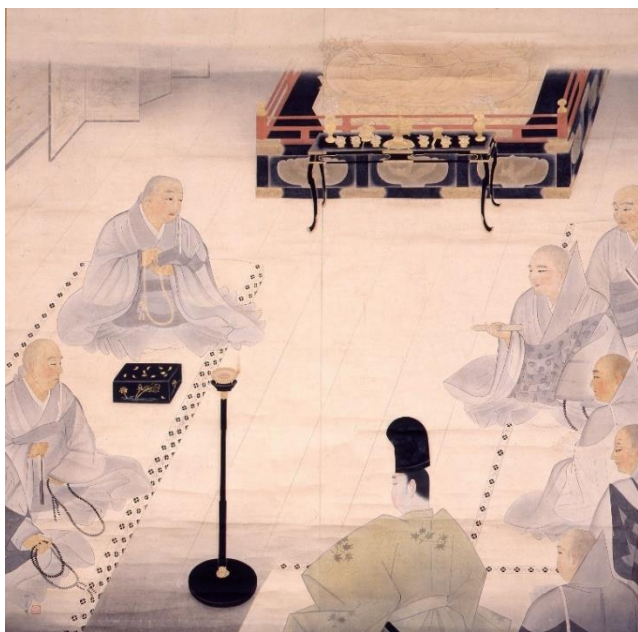
晩年の印象が描く《恵美須大神》もこの機会にご覧ください。



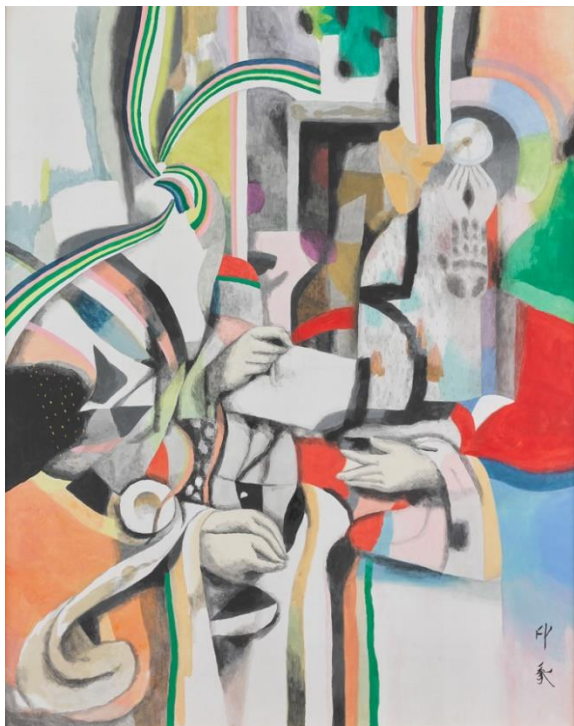
堂本印象《恵美須大神》1973年 恵美須神社（京都ゑびす神社）蔵

法然上人は具象から抽象まで多彩に表現

昭和初期、帝展に発表した上人にまつわる物語《大原談義》から、上人の教えを抽象的かつ色彩豊かに表現した晩年の《法然上人一枚起請文》などお楽しみください。



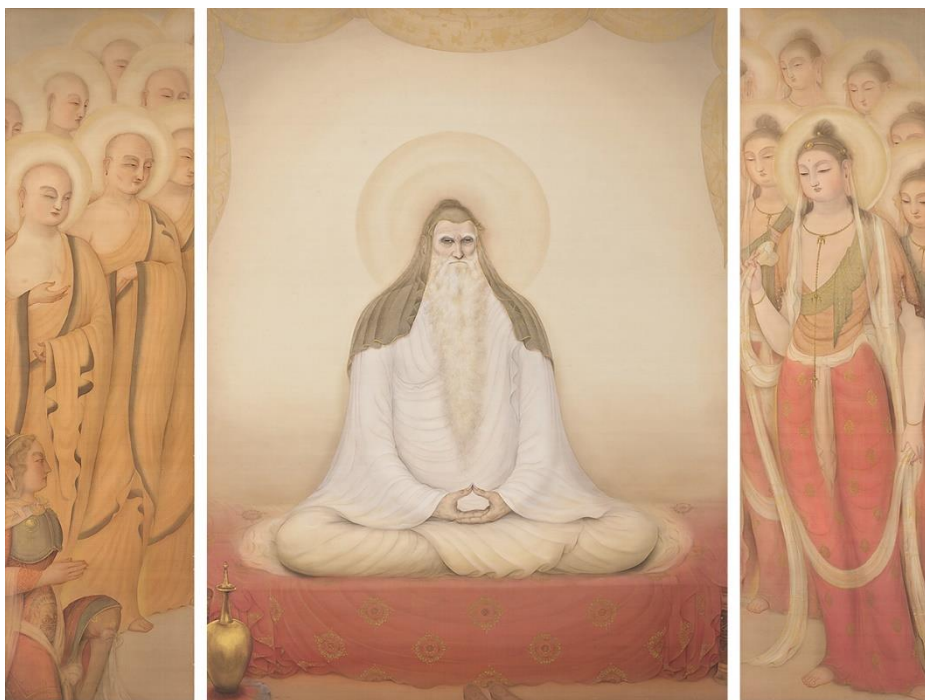
堂本印象《大原談義》1931年 知恩院蔵



堂本印象 《法然上人一枚起請文》 1970年 京都府立堂本印象美術館蔵

インド好きの印象が描く《維摩》

大正時代、若き日の印象はインドへの憧れを強く持っていました。そうした熱い思いが《維摩》には溢れています。



堂本印象 《維摩》 1923年 京都府立堂本印象美術館蔵

イベント

●ギャラリートーク（参加費・申込不要、要入場券）

日 時：2025年2月22日（土）14：00～

2025年3月1日（土）14：00～

場 所：美術館 2階展示室

●講演会 京都新聞ニュースカフェ

「堂本印象の転換点！？ 一歴史画での模索一」（要申込）

仏教美術を専門とし、堂本印象にも詳しい大原氏に、印象の歴史画に取り組む姿勢と、それが戦後の新たな挑戦にどのような影響を与えたのかについて、お話しいたします。

日 時：2025年2月11日（火・祝）10：30～

講 師：大原 嘉豊氏（京都国立博物館 教育室長）

会 場：京都新聞文化ホール（京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞ビル7階）

料 金：1,000円（本展観覧券1枚付き）

※問い合わせ

京都新聞 COM 事業推進局開発推進部（TEL：075-255-9757）平日10時～17時

●親子イベント「絵本作家から学ぶ日本画の魅力」（要申込）

日 時：2月2日（日）13：30～14：30（サイン会：14：45～）

講 師：谷口智則氏（絵本作家）

会 場：美術館 新館展示室

参加料：無料（※本展観覧券または65歳以上の方は公的証明書が必要）

定 員：12組24名（中学生以下とその保護者）

※詳細・申込方法は当館HPをご確認ください。

京都府立堂本印象美術館